

DX（デジタルトランスフォーメーション）戦略

有限会社ノリテック

代表取締役 今井 典子

1 経営ビジョン（DX推進の方向性）

近年、デジタル技術の急速な進歩が、さまざまな業界に革命をもたらしています。この変革の中で、デジタル化への適応ができなければ、当社の競争力の維持は難しい状況にあります。

このため、当社では、これまでのデジタル化やIT化の取り組みに加えて、近年進歩の著しいDX技術の積極的な活用により、事務所等のバックヤード業務を可能な限り自動化、効率化し、各介護事業所をバックアップするとともに、各介護事業所における利用者・ご家族とのコミュニケーションや直接支援業務についても品質向上を図ることにより、引き続き利用者・ご家族から選ばれる事業所を目指します。

また、デジタル技術の活用に際しては、利用者・ご家族の満足はもとより、職員が働きやすい環境づくりに腐心します。

2 DX推進の戦略

- (1) 事務等のバックヤード業務や介護事業所における業務をデジタルツールを用いることにより共通なものとして統一し、データの共有や同時編集を可能とし、事務所及び介護事業所間の連携体制を強化します。
- (2) 事務所及び各介護事業所における業務システムを効率化することにより業務の効率化、短時間化を促進します。
- (3) デジタルツールを用いた社内教育を行うことにより人材育成を強化します。
- (4) クラウドサーバーやビジネスチャットツール等を活用し、当社でこれまで蓄積してきたデジタルデータを活用できる体制を構築し、利用者個々のニーズに対応した直接支援の実施等、品質の向上を行います。

これらの取り組みにより職員の残業時間、特にその3分の1を占める各事業所管理者による事務処理等のための残業時間を削減するとともに、利用者やご家族等とのコミュニケーションや直接支援のための時間を確保します。

具体的な取り組み

・介護事業所として義務化されている委員会等を含めた各種会議は、議事録自動作成ツールを使用して開催することにより、確実な議事録の作成によるコンプライアンスの確保のほか、議事録作成の効率化やシフトで参加できなかった職員を含めた会議内容の確実な共有による介護支援水準の向上を行います。

3 DX推進体制

(1) 体制

DX推進統括責任者(統括管理)：代表取締役 今井 典子

開発担当者(開発)：2名

広報担当者(H P更新等)：1名

メンバー(現場の意見吸い上げ及び開発担当・教育担当とのすり合わせ)：2名

(2) D X人材の育成

I T化の時代に乗り遅れないよう、採用職員を含めて全職員がタブレットを、加えて常勤職員はP Cを活用できるように教育を行い、常勤職員は、特にI Tツールの使い方において時代の先端に行く効率的な使い方を研修によって習得します。

4 D X推進のための環境整備

当社では、デジタル技術を活用するため、次の取り組みを行っています。

① 社内の情報をクラウドサーバーに集約し、情報共有、共有同時作業を実施しています。

② 全事業所に職員のシフトに合わせて、勤務中に全職員が随時使用できる W I N D O W S のタブレット及びP Cを設置

以上に加えて、最新のデジタル技術を活用するため次の環境整備を行います。

③ 事務業務等の自動化を行うための M i c r o s o f t 3 6 5 の導入

④ R P A や B P I、プロジェクト別管理ツールの導入

5 戦略の達成状況に係る指標

目標年次 2026 年度

① 職員の年間総残業時間及び管理者の残業時間の各 50%削減

(2021~2023 年実績平均の 50%)

② 月次試算表の翌月中旬期限での作成

③ 業務効率化件数 新規 5 件/年

④ 職員の D X 研修 最低 2 回/年

6 サイバーセキュリティ対策

(1) セキュリティポリシーの策定 令和 5 年 12 月 21 日制定

(2) セキュリティ教育

全ての従業員に対しセキュリティ教育を実施し、セキュリティに対する意識を高めま
す。

(3) セキュリティの見直し

新たな脅威に対応できるように定期的なセキュリティの見直しと評価を実施します。

附則 令和 6 年 1 月 18 日制定 (取締役会承認)

令和 6 年 7 月 14 日改正 (取締役会承認)